学校番号	１３０２

令和８年度　（学）共生科

教科	共生	科目	（学）チーム演習Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	使用教材なし						
副教材等	使用教材なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主に高齢者や身体障がい者を対象としたソーシャルワークに関する基礎的、基本的な知識を学びます。人との連携が必要なソーシャルワークにおいて、それぞれの役割についての理解を深めるとともに、コミュニケーションスキルの向上をめざします。また、介護職に関わる車いす介助やベッドメイキングなどの実践的な体験も行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・ソーシャルワークに関する基礎的な知識・技能を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
・授業を通して、自分の考えを表現し、ソーシャルワークに関しての基礎的な思考力や視点、考え方などを培う。
【学びに向かう力、人間性等】
・人間としての尊厳や認識を深め、協働に関わる資質向上を図るための態度を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ソーシャルワーク全般に関する基礎的な知識を身に付ける。 体験授業を通して、ワーカーに関する技術を身に付けることができる。	各単元ごとで学習したことをもとに課題を見出し、思考を深め、適切に判断することができる。 ソーシャルワーク全般に関するあらゆる事象を多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断することができる。	各分野において興味・関心をもち、誰もが幸せに暮らせるよう、より良い社会の実現を視野に入れ、主体的に課題を解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	介護の役割	・介護従事者に関する基本的な知識や情報 ・介護従事者に求められる一般的教養	a:介護従事者の諸問題について理解する。 b:ソーシャルワーカーの置かれている基本的な立場について考察できる。 c:ソーシャルワーカーの連携に関するさまざまな問題を認識し、意欲的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 授業態度
2学期	各ソーシャルワーカーの仕事	・介護福祉士の専門性 ・専門職としての基本姿勢 ・障がい者理解	a:専門職としてのさまざまな問題について理解する。 b:ソーシャルワーカーの置かれている基本的な立場について考察できる。 c: ソーシャルワーカーの連携に関するさまざまな問題を認識し、意欲的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 授業態度
3学期	多職種連携の必要性	・障がい者理解 ・チームケア ・プライバシーの保護	a: 専門職としてのさまざまな問題について理解する。 個人情報の重要性について理解する。 b:さまざまな多職種連携について考察できる。 c:チームケアとしてプライバシーの保護を認識し、意欲的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度